

# 木質文化財研究会 2014年度 第2回見学講演会 福井県立恐竜博物館

<http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/>

今年度第二回目の見学・講演会は、8月3日、福井県勝山市にある福井県立恐竜博物館にて、「木質文化財と材化石：日本から産する材化石」をテーマに行いました。



材化石と文化財？は一見遠いテーマのようですが、日本の遺跡からも、用材として珪化木の出土事例があり、また、埋もれ木は、伝統工芸用材として珍重されています。そこで、福井県立恐竜博物館主任研究員、寺田和雄先生から、珪化木研究を概説いただき、珪化木の成因、そして珪化木の樹種調査に基づく古植生の復元についてご講演頂きました。（参考文献：寺田和雄・日本から算出する珪化木について、化石83号、p64-77、2008年3月、日本古生物学会）時代・産地・樹種の異なる種々の珪化木を実際に手に取らせていただきながら、考古学と古生物学，文化財と自然史財の違いや，中生代の樹種について、また植物の進化過程と古植生の復元などについて、熱心な質疑応答が行われました。講演会終了後は、恐竜博物館のご厚意で常設展入場料を免除頂き、館内の材化石をはじめとするコレクションを見学しました。

夏休みの週末、また本邦初スペインからの恐竜化石の特別展も開催中とあって、博物館は家族連れの入館者で大賑わいでした。本研究会はその活気の中で、博物館入口の本日のイベント電子掲示板に大きく“木質文化財研究会様”と記して歓迎していただきました。改めまして、関係者の皆様にお礼申し上げます。